

## メディアコミュニケーション学演習 I A 2 Seminar on Media and Communications IA

<b>担当者 Instructor</b>	王 雪萍(オウ セツハイ)/Wang Xueping						
<b>年度 Academic Year</b>	2018	<b>時間割 Schedule</b>	春火3 / Tue3, Spring	<b>授業コード Class Code</b>	1540103002	<b>単位数 Credit</b>	2
<b>授業科目区分 Subject category</b>						<b>科目ナンバリング Numbering code</b>	
<b>授業回数 Class frequency</b>							
<b>受講対象学科 Department for enrollment</b>							

### 【サブタイトル (Sub-title)】

グローバル社会の変容とメディア

### 【講義の目的・内容 (Course Purpose and Description)】

本演習は、世界のメディア報道を弁別する力を高めるための授業です。グローバル化が進む今は、テレビ、新聞、インターネットなど様々なメディアを通じて、瞬時に世界の最新ニュース、情報に接することができる時代です。しかし、同時に世界各国ではナショナリズムや民族主義の増長も多くみられています。そうしたなか、メディアの経営状況、報道内容も随時グローバル社会の変化に影響されています。同時にメディアの報道も、国際政治、経済などにも大きな影響を与えています。つまり、グローバル社会の変容とメディアの変容は相互に影響され、連動しています。本演習では、日本やアメリカ、欧州、アジアなどの地域の各メディアの報道を中心にメディアの報道とグローバル社会の変容の関係を分析するためのスキルを習得してもらい、日本語や英語のニュース報道や参考文献を読み、多方面・多視点から問題分析する能力を養います。

### 【学修到達目標 (Learning Objectives)】

1. メディアの報道を分析し、弁別する能力を養います。
2. グローバル的な視点からニュースを理解する能力を向上させます。
3. メディア報道を学術的に分析する能力や知識を身に付けてもらいます。

### 【講義スケジュール (Schedule)】

春学期

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 研究、発表のための基本スキル
- 第3回 「グローバル社会の変容とメディア」に関する概論
- 第4回 グループワーク中間発表 1, 2
- 第5回 グループワーク中間発表 3, 4
- 第6回 グループワーク中間発表 5, 6
- 第7回 文献講読、討論 1
- 第8回 文献講読、討論 2
- 第9回 文献講読、討論 3

- 第10回 グループワーク最終発表 1
- 第11回 グループワーク最終発表 2
- 第12回 グループワーク最終発表 3
- 第13回 グループワーク最終発表 4
- 第14回 グループワーク最終発表 5
- 第15回 グループワーク最終発表 6

### 【指導方法 (Instructional Methods)】

1. 演習科目は積極的な参加が必須です。毎回の授業で必ずすべての学生に発言機会を与え、自分の意見をしっかりと述べられるように努力してもらいます。
2. グループワークを通じて、共同作業、共同研究ができる能力を養います。
3. 研究課題の発表とレポート提出を通じて、自分の関心分野を見つけて、資料収集、資料分析の能力を向上させた上で、聴衆を意識したプレゼン能力を高めます。

### 【事前・事後学習 (Self-study before/after classes)】

受講生には、毎回の話題について発言できるように事前に配布する資料、文献を読んでから、授業に参加してもらいます。また、グループワークと個人課題に関しては、資料調査や発表準備をきちんと行うこと。毎回授業の後、しっかり復習し、教員の講義や、他の学生の報告に対する質問・コメントを必ず提出してもらいます。また授業時に教員が指示した課題についても必ず締切までに提出してもらいます。

### 【成績評価の方法・基準 (Methods of Evaluation and Grading Criteria)】

- 授業参加度 10%
- グループワーク発表 30%
- 個人発表 30%
- 提出課題 30%

#### 【成績評価の基準】

東洋大学の成績評価の基準に準拠します。

### 【受講要件 (Pre-requisites)】

なし

### 【テキスト (Textbooks)】

山腰修三編著『入門 メディア・コミュニケーション』慶應義塾大学出版会、2017年、2500円。

### 【参考書 (Reference Materials)】

授業時に提示

### 【関連分野・関連科目 (Related Study Fields and Courses)】

### 【備考 (Notes)】

【添付ファイル1 (File No.1)】

【添付ファイル2 (File No.2)】

【添付ファイル3 (File No.3)】

【リンク (URLs)】